



教育目標
 明るく思いやりのある子(きよく)
 進んで学ぶ子(かしこく)
 健康でねばり強い子(たくましく)

地震・火災避難訓練

去る11月16日(金)に「いつ発生するか分からない地震や火災に備えて、いつ、どんな場所においても、自分の身を守るためには、どのような行動を取れば良いのかを考え、安全に避難することができるように避難の方法を確認し、訓練する」ことをねらいとして、地震・津波避難訓練を実施しました。

事前学習で地震発生時における正しい避難行動の確認と火災発生時の煙の動きを判断しての正しい避難行動等の確認を行い、11月16日に地震・火災避難訓練を実施することを全児童には知らされていましたが、何校時に行なわれるのかは、知らせていませんでした。2校時が終了し、休み時間の途中に突然「訓練です。緊急地震速報が出ています。児童の皆さんは直ちに避難してください。」という教頭先生の放送と同時に、訓練が開始されました。それぞれが、休み時間を過ごしており、中庭にいる児童、図書館にいる児童の各々が、自分の判断で、頭をしっかりと守りながら避難姿勢を保っていました。地震の音が流れること3分間。次に火災の発生を知らせる放送が流れると、全員がハンカチで口を覆い、体育館に避難しました。

一連の避難の様子を金武消防署の3名の署員の皆さんが観察してくれ、その後、全体集会で本校の避難の様子を講評してくださいました。自分の体を守る行動を真剣にとれたこと、避難場所へ移動する際、笑ったり、ふざけたりすることがなく、真剣に取り組んでいたことがとても良かったと、お褒めの言葉をいただきました。避難の際は、「**お・か・し・も・ち**(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない・ちかづかない)」をしっかりと守って行動してほしいこと、今日の地震・火災避難訓練のことをお家に帰ったら、家族に話してほしいとお話していました。

今年、7月に西日本をおそった豪雨による未曾有の被害、9月に北海道胆振東部地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。沖縄でもいつ地震が発生するのか、わかりません。身を守るためにぜひ、ご家庭でも地震・津波、そしてそれに伴う火災等に対する避難のありかたをお話し合いしてみてもは如何でしょうか。



写真1 地震から身を守ろうと机の下に避難



写真2 頭を守り避難する児童



写真3 火災発生により体育館へ非難



写真4 消防署隊員の講評を聞き入る児童